

## パラグアイ主要経済指標( 1月 )

### I 為替相場

(1) 対ドル(Gs/US\$)

1月の対ドル為替レート(Gs/US\$)は5,553Gsとなった。なお、2016年4月以降、変動幅が小さい。

(2) 対ユーロ(Gs/EURO)

1月の対ユーロ為替レート(Gs/EURO)は6,730Gsとなった。2016年5月以降、変動幅が小さい。

### II 消費者物価指数

(1) 消費者物価指数(総合)

1月の消費者物価指数(総合)は0.8%となり、年間累計値は0.8%となった。

(2) コア・インフレ

1月のコア・インフレ率は0.8%となり、年間累計値は0.8%となった。

### III 貿易

輸出総額(1月)は、対前年比-33.6%となった。(大豆種子-64.6%増、大豆油28.4%、大豆粉57.0%、穀物類-28.8%、牛肉13.4%増、自動車部品(ハーネス)12.9%増、電力-96.0%、その他13.6%増となった。)

### IV 外貨準備高

1月末の外貨準備高は、約8,156百万米ドルであった。

### V 対外累積債務

11月末の対外累積債務は、約5,579百万米ドルであった。

### VI 最低賃金, 失業率

### VII 実質GDP・名目GDP・経済成長率

### VIII 1月のトピックス

- 1 石油・バスの値上がり
- 2 2018年予算成立
- 3 非伝統的品目輸出が8年間で3倍成長(対2009年比)
- 4 トラック業界によるストライキ・デモ
- 5 国立勸業銀行と白沢商工株式会社によるゴマ栽培農家支援にかかる協力協定締結

## I 為替相場

### 1 為替レート概要(月平均値, 売値)

#### (1) 対ドル(Gs/US\$)

1月の対ドル為替レート(Gs/US\$)は5,553Gsとなった。なお、2016年4月以降、変動幅が小さい。

#### (2) 対ユーロ(Gs/EURO)

1月の対ユーロ為替レート(Gs/EURO)は6,730Gsとなった。2016年5月以降、変動幅が小さい。

#### (3) 対リアル(Gs/REAL)

1月の対リアル為替レート(Gs/REAL)は1,715Gsとなった。

#### (4) 対アルゼンチンペソ(Gs/PESO)

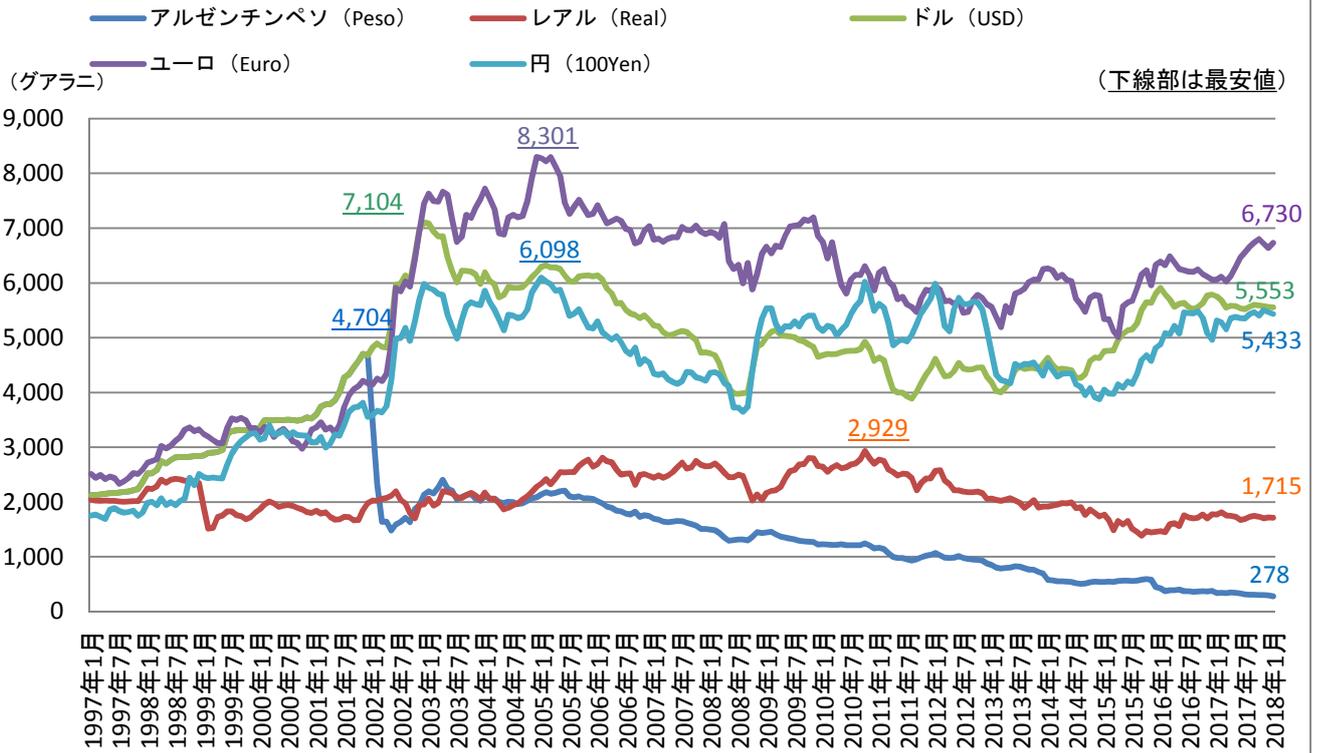
1月の対アルゼンチンペソ為替レート(Gs/PESO)は278Gsとなった。

### 2 為替レート表(月平均値, 売値)

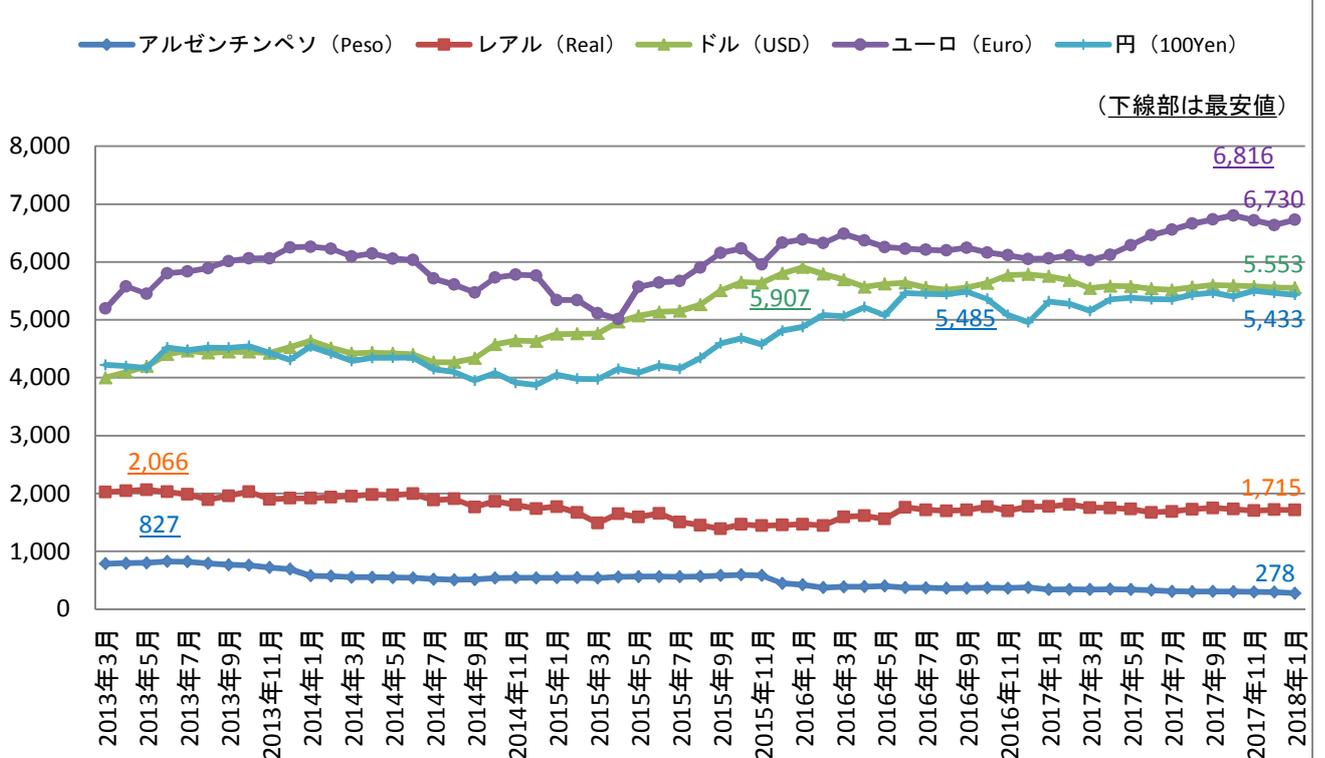
(2015年~2018年)

年/月	ドル(USD)	ユーロ(Euro)	リアル(Real)	亜ペソ(Peso)	円(100Yen)
2015年 1月	4,754	5,341	1,773	544	4,050
2015年 2月	4,760	5,341	1,669	546	3,982
2015年 3月	4,765	5,115	1,489	540	3,974
2015年 4月	4,963	5,013	1,652	557	4,149
2015年 5月	5,069	5,570	1,593	564	4,086
2015年 6月	5,137	5,645	1,657	565	4,204
2015年 7月	5,152	5,668	1,507	561	4,156
2015年 8月	5,262	5,903	1,453	567	4,341
2015年 9月	5,507	6,157	1,388	585	4,595
2015年 10月	5,651	6,233	1,466	594	4,679
2015年 11月	5,639	5,959	1,443	582	4,578
2015年 12月	5,802	6,332	1,455	447	4,813
2016年 1月	5,907	6,388	1,468	425	4,878
2016年 2月	5,792	6,325	1,448	375	5,084
2016年 3月	5,695	6,485	1,596	389	5,061
2016年 4月	5,568	6,374	1,614	390	5,216
2016年 5月	5,619	6,256	1,560	400	5,076
2016年 6月	5,639	6,230	1,761	375	5,464
2016年 7月	5,560	6,210	1,717	371	5,450
2016年 8月	5,517	6,200	1,701	362	5,445
2016年 9月	5,558	6,246	1,714	365	5,485
2016年 10月	5,633	6,163	1,772	371	5,361
2016年 11月	5,773	6,116	1,699	364	5,083
2016年 12月	5,786	6,054	1,775	376	4,957
2017年 1月	5,751	6,061	1,774	340	5,317
2017年 2月	5,682	6,113	1,811	344	5,278
2017年 3月	5,546	6,027	1,756	340	5,153
2017年 4月	5,585	6,125	1,749	347	5,356
2017年 5月	5,578	6,290	1,730	342	5,380
2017年 6月	5,537	6,463	1,672	329	5,358
2017年 7月	5,517	6,558	1,689	312	5,351
2017年 8月	5,566	6,661	1,728	306	5,434
2017年 9月	5,602	6,735	1,750	306	5,469
2017年 10月	5,592	6,804	1,730	304	5,402
2017年 11月	5,578	6,720	1,702	300	5,500
2017年 12月	5,559	6,637	1,721	296	5,467
2018年 1月	5,553	6,730	1,715	278	5,433

### 対グアラニ為替相場(月平均値)



### 対グアラニ為替相場(月平均値:直近3年間)



## II 消費者物価指数

### 1 消費者物価指数概要

#### (1) 消費者物価指数(総合)

1月の消費者物価数(総合)は0.8%となり、年間累計値は0.8%となった。

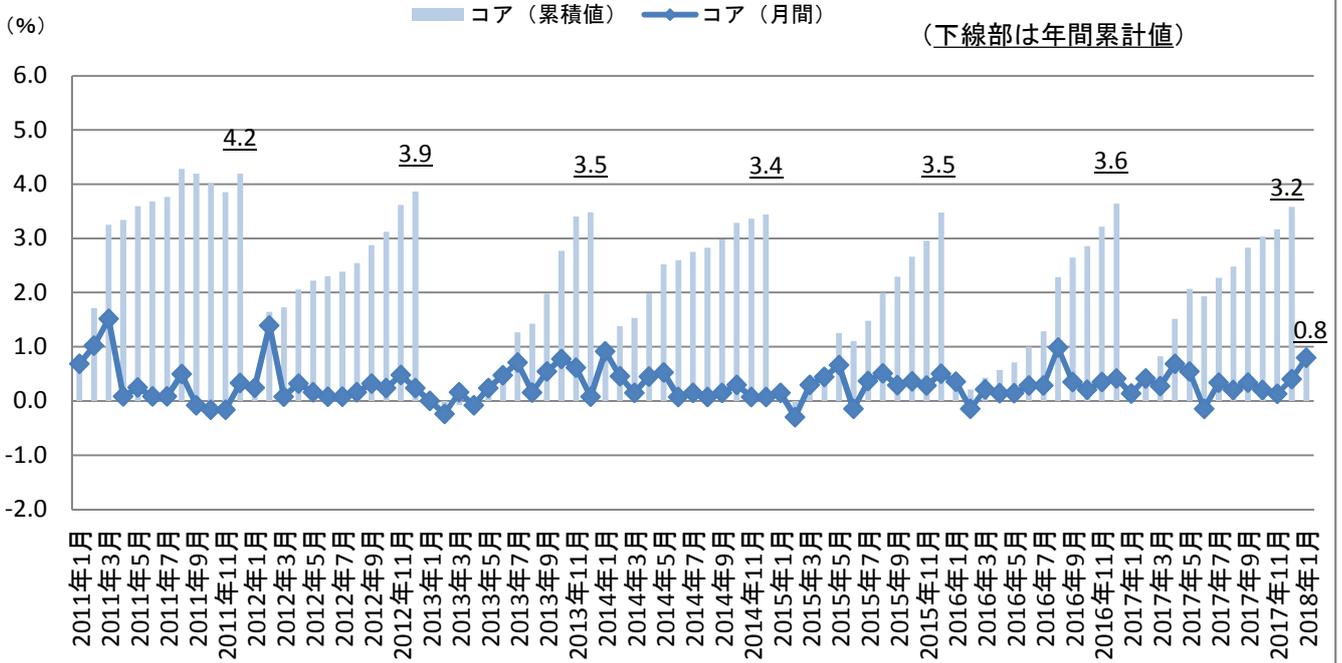
#### (2) コア・インフレ

1月のコア・インフレ率は0.8%となり、年間累計値は0.8%となった。

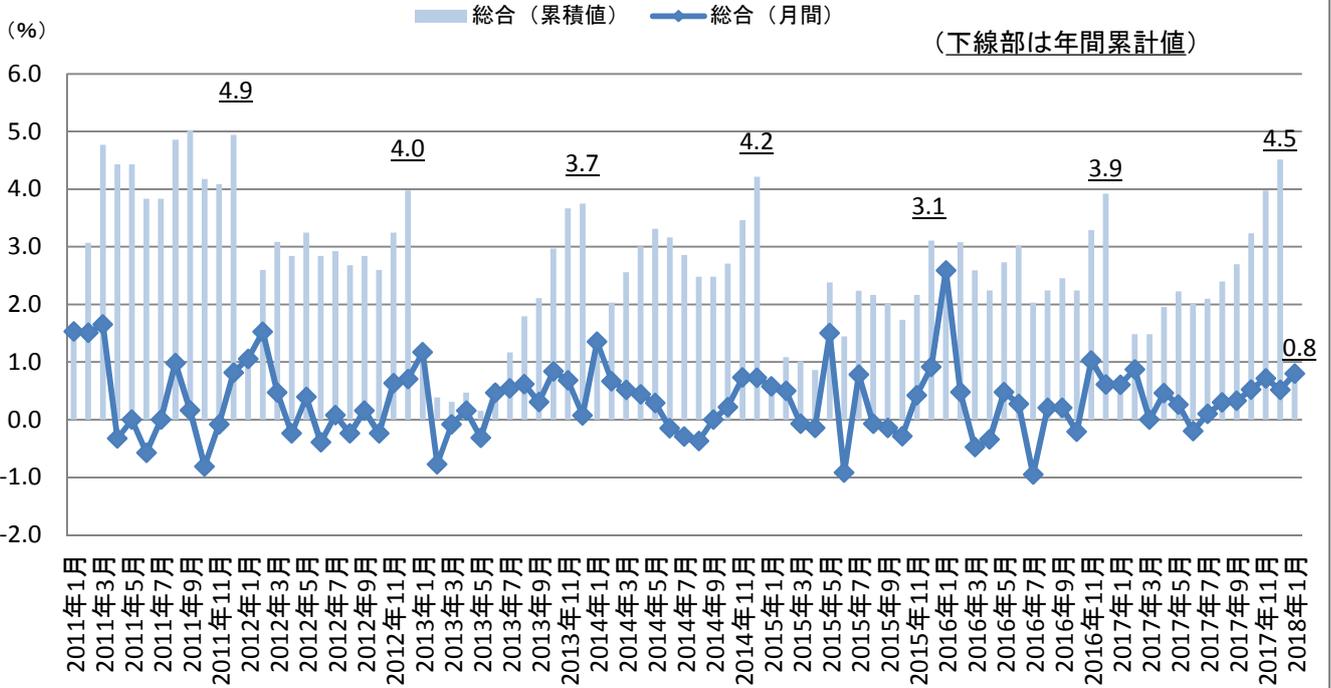
### 2 消費者物価指数一覧表 (2015年～2018年)

年/月	消費者物価指数(総合)(%)		コア・インフレ(%)	
	月間	累積	月間	累積
2015年 1月	0.6	0.6	0.1	0.1
2015年 2月	0.5	1.1	-0.3	-0.1
2015年 3月	-0.1	1.0	0.3	0.1
2015年 4月	-0.1	0.9	0.4	0.6
2015年 5月	1.5	2.4	0.7	1.3
2015年 6月	-0.9	1.4	-0.1	1.1
2015年 7月	0.8	2.2	0.4	1.5
2015年 8月	-0.1	2.2	0.5	2.0
2015年 9月	-0.1	2.0	0.3	2.3
2015年 10月	-0.3	1.7	0.4	2.7
2015年 11月	0.4	2.2	0.3	3.0
2015年 12月	0.9	3.1	0.5	3.5
2016年 1月	2.6	2.6	0.4	0.4
2016年 2月	0.5	3.1	-0.1	0.2
2016年 3月	-0.5	2.6	0.2	0.4
2016年 4月	-0.3	2.2	0.1	0.6
2016年 5月	0.5	2.7	0.1	0.7
2016年 6月	0.3	3.0	0.3	1.0
2016年 7月	-1.0	2.0	0.3	1.3
2016年 8月	0.2	2.2	1.0	2.3
2016年 9月	0.2	2.5	0.3	2.6
2016年 10月	-0.2	2.2	0.2	2.9
2016年 11月	1.0	3.3	0.3	3.2
2016年 12月	0.6	3.9	0.4	3.6
2017年 1月	0.6	0.6	0.1	0.1
2017年 2月	0.9	1.5	0.4	0.6
2017年 3月	0.0	1.5	0.3	0.8
2017年 4月	0.5	2.0	0.7	1.5
2017年 5月	0.3	2.2	0.5	2.1
2017年 6月	-0.2	2.0	-0.1	1.9
2017年 7月	0.1	2.1	0.3	2.3
2017年 8月	0.3	2.4	0.2	2.5
2017年 9月	0.3	2.7	0.3	2.8
2017年 10月	0.5	3.2	0.2	3.0
2017年 11月	0.7	4.0	0.1	3.2
2017年 12月	0.5	4.5	0.4	3.6
2018年 1月	0.8	0.8	0.8	0.8

## コア・インフレ率(前月比・累計値)



## インフレ率(前月比・累計値)



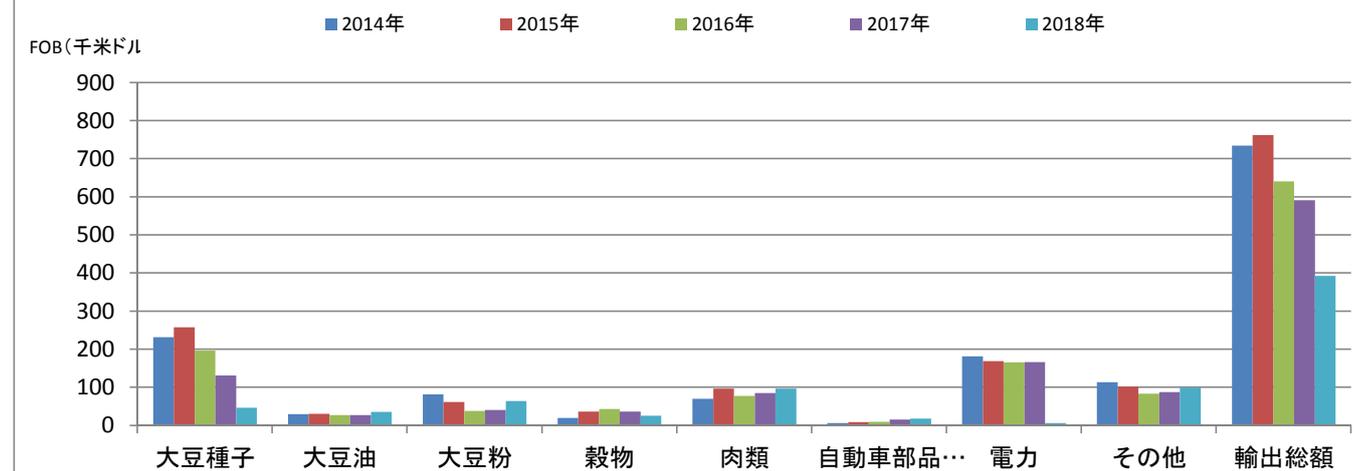
### Ⅲ 貿易

#### 1 主要輸出品目別輸出総額(1月)

単位(千米ドル)

年/月	大豆種子	大豆油	大豆粉	穀物	肉類	自動車部品 (ハーネス)	電力	その他	輸出総額
2014年 1月	231,865	29,706	81,544	20,042	70,034	6,435	181,595	113,391	734,613
2015年 1月	258,063	30,478	61,406	36,369	96,539	8,812	168,625	101,802	762,096
2016年 1月	196,310	27,067	37,974	42,877	77,861	9,668	165,333	83,499	640,589
2017年 1月	131,631	27,455	40,755	36,530	85,196	15,883	166,351	87,591	591,391
2018年 1月	46,661	35,259	63,966	26,003	96,649	17,927	6,711	99,473	392,648
前年比度(2017/2018)	-64.6%	28.4%	57.0%	-28.8%	13.4%	12.9%	-96.0%	13.6%	-33.6%

#### 主要輸出品目別輸出総額(2018年1月)

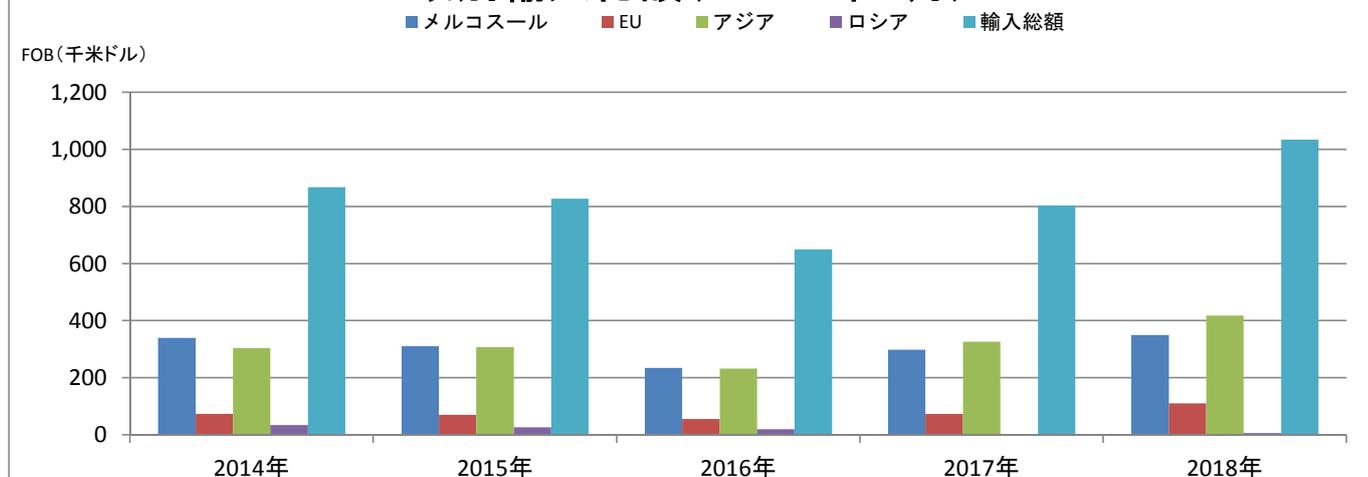


#### 2 輸入総額(1月)

単位(千米ドル)

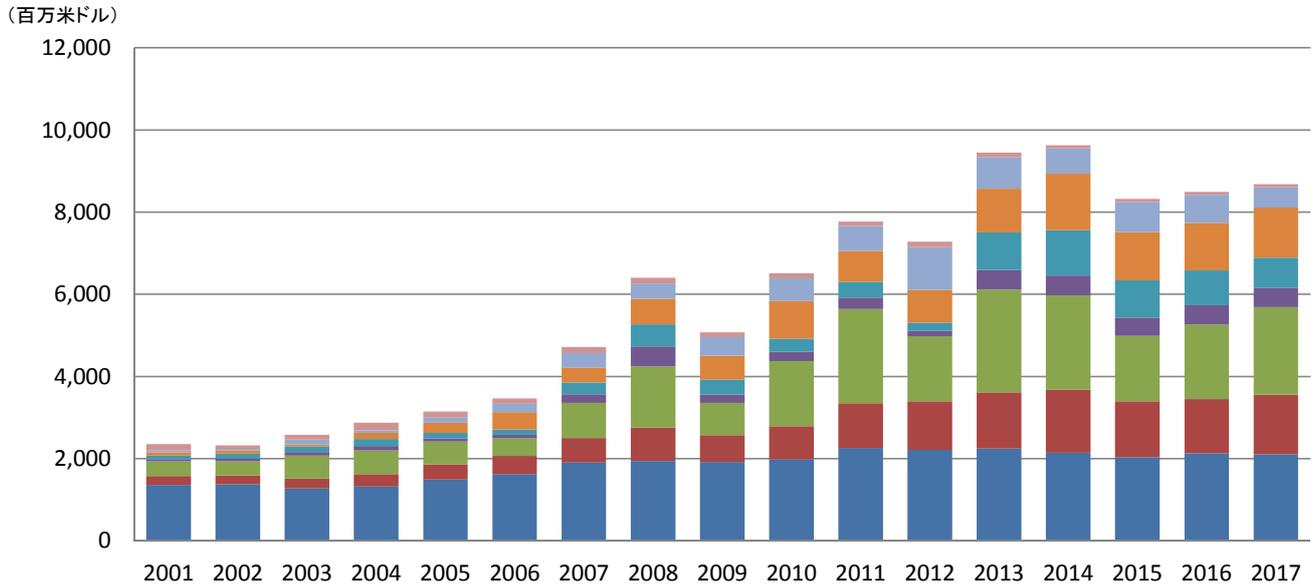
年/月	メルコスール	EU	アジア	ロシア	その他	輸入総額
2014年 1月	339,708	73,554	303,777	35,028	115,670	867,737
2015年 1月	311,499	70,483	307,845	27,059	110,730	827,615
2016年 1月	234,461	56,053	232,970	20,070	106,395	649,950
2017年 1月	298,663	73,836	326,618	851	104,764	804,732
2018年 1月	350,192	110,197	418,496	6,483	149,380	1,034,748
前年比度(2017/2018)	17.3%	49.2%	28.1%	662.1%	42.6%	28.6%

#### 域別輸入総額(2018年1月)



## 主要輸出品目別

■ 電力 ■ その他（工業産品含） ■ 大豆種子 ■ 大豆油 ■ 大豆粉 ■ 肉類 ■ 穀物類 ■ その他農産品

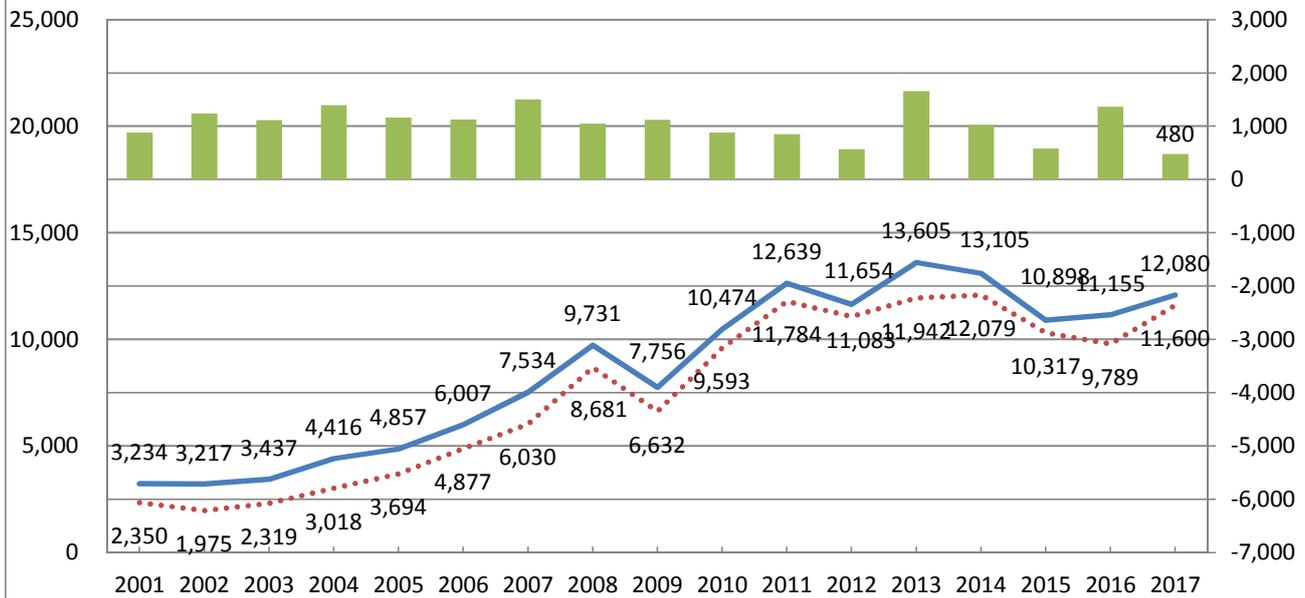


## 貿易(輸出入総額・貿易収支)

輸出入  
(百万米ドル)

■ 貿易収支 ■ 輸出

貿易収支  
(百万米ドル)



#### IV 外貨準備高

##### 1 外貨準備高概要

1月末の外貨準備高は、約8,156百万米ドルであった。

##### 2 外貨準備高一覧(年末値, 月末値)

(2014年~2018年)

(百万米ドル)

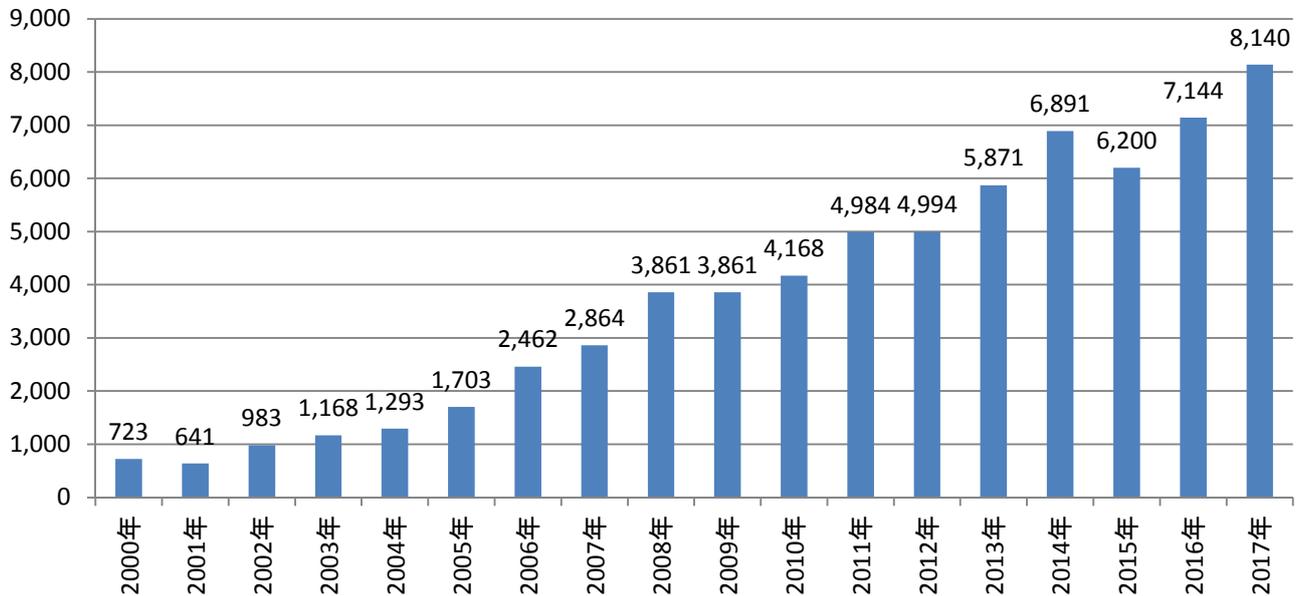
年	年末値
2000年 12月	723
2001年 12月	641
2002年 12月	983
2003年 12月	1,168
2004年 12月	1,293
2005年 12月	1,703
2006年 12月	2,462
2007年 12月	2,864
2008年 12月	3,861
2009年 12月	3,861
2010年 12月	4,168
2011年 12月	4,984
2012年 12月	4,994
2013年 12月	5,871
2014年 12月	6,891
2015年 12月	6,200
2016年 12月	7,144
2017年 12月	8,140

(百万米ドル)

年	月末値
2014年 1月	5,720
2014年 2月	5,768
2014年 3月	6,022
2014年 4月	6,202
2014年 5月	6,333
2014年 6月	6,377
2014年 7月	6,275
2014年 8月	7,247
2014年 9月	7,130
2014年 10月	7,001
2014年 11月	7,050
2014年 12月	6,891
2015年 1月	6,806
2015年 2月	6,721
2015年 3月	6,672
2015年 4月	7,066
2015年 5月	7,077
2015年 6月	7,100
2015年 7月	6,902
2015年 8月	6,771
2015年 9月	6,508
2015年 10月	6,336
2015年 11月	6,247
2015年 12月	6,200
2016年 1月	6,001
2016年 2月	5,858
2016年 3月	6,633
2016年 4月	6,829
2016年 5月	6,867
2016年 6月	6,882
2016年 7月	6,851
2016年 8月	6,902
2016年 9月	7,000
2016年 10月	6,924
2016年 11月	6,896
2016年 12月	7,144
2017年 1月	7,083
2017年 2月	7,173
2017年 3月	7,803
2017年 4月	7,811
2017年 5月	7,909
2017年 6月	8,007
2017年 7月	8,016
2017年 8月	8,067
2017年 9月	8,100
2017年 10月	7,971
2017年 11月	8,020
2017年 12月	8,140
2018年 1月	8,156

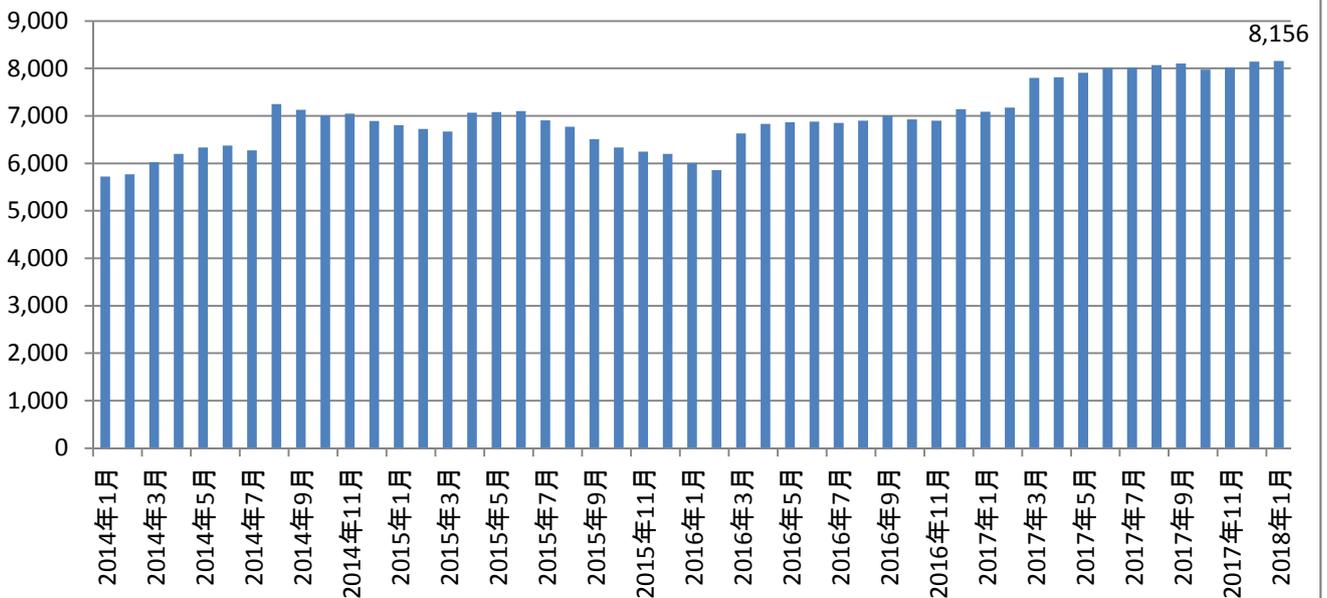
## 外貨準備高:年末値

(百万米ドル)



## 外貨準備高:月末値(2014年~2018年)

(百万米ドル)



## V 対外累積債務

### 1 対外累積債務概要

11月末の対外累積債務は、約5,579百万米ドルであった。

### 2 対外累積債務一覧(年末値, 月末値) (千米ドル)

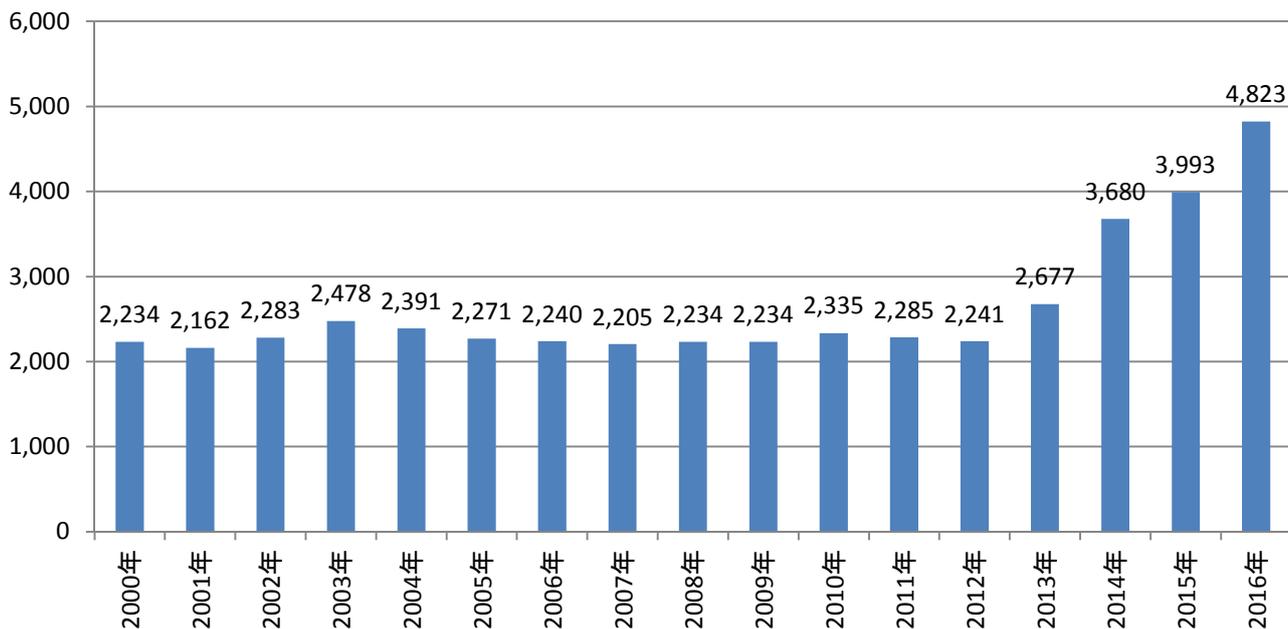
年	年末値
2000年 12月	2,234,322
2001年 12月	2,162,407
2002年 12月	2,283,051
2003年 12月	2,477,573
2004年 12月	2,390,687
2005年 12月	2,271,139
2006年 12月	2,240,448
2007年 12月	2,205,330
2008年 12月	2,234,198
2009年 12月	2,234,233
2010年 12月	2,335,425
2011年 12月	2,284,723
2012年 12月	2,241,060
2013年 12月	2,677,032
2014年 12月	3,679,598
2015年 12月	3,993,084
2016年 12月	4,822,606

### (2014年~2017年) (千米ドル)

年	月末値
2014年 1月	2,664,342
2014年 2月	2,656,189
2014年 3月	2,681,312
2014年 4月	2,690,146
2014年 5月	2,683,411
2014年 6月	2,677,604
2014年 7月	2,660,660
2014年 8月	3,648,831
2014年 9月	3,629,087
2014年 10月	3,628,449
2014年 11月	3,604,216
2014年 12月	3,679,598
2015年 1月	3,679,212
2015年 2月	3,670,452
2015年 3月	3,665,989
2015年 4月	3,931,070
2015年 5月	3,932,823
2015年 6月	3,934,322
2015年 7月	3,913,548
2015年 8月	3,918,582
2015年 9月	3,923,794
2015年 10月	3,907,839
2015年 11月	3,901,630
2015年 12月	3,993,084
2016年 1月	3,979,611
2016年 2月	3,976,494
2016年 3月	4,571,208
2016年 4月	4,632,521
2016年 5月	4,645,744
2016年 6月	4,661,321
2016年 7月	4,664,740
2016年 8月	4,652,052
2016年 9月	4,656,467
2016年 10月	4,656,042
2016年 11月	4,671,876
2016年 12月	4,822,606
2017年 1月	4,829,851
2017年 2月	4,833,956
2017年 3月	5,351,630
2017年 4月	5,344,427
2017年 5月	5,472,838
2017年 6月	5,533,131
2017年 7月	5,540,885
2017年 8月	5,579,692
2017年 9月	5,579,692
2017年 10月	5,535,177
2017年 11月	5,578,579
2017年 12月	

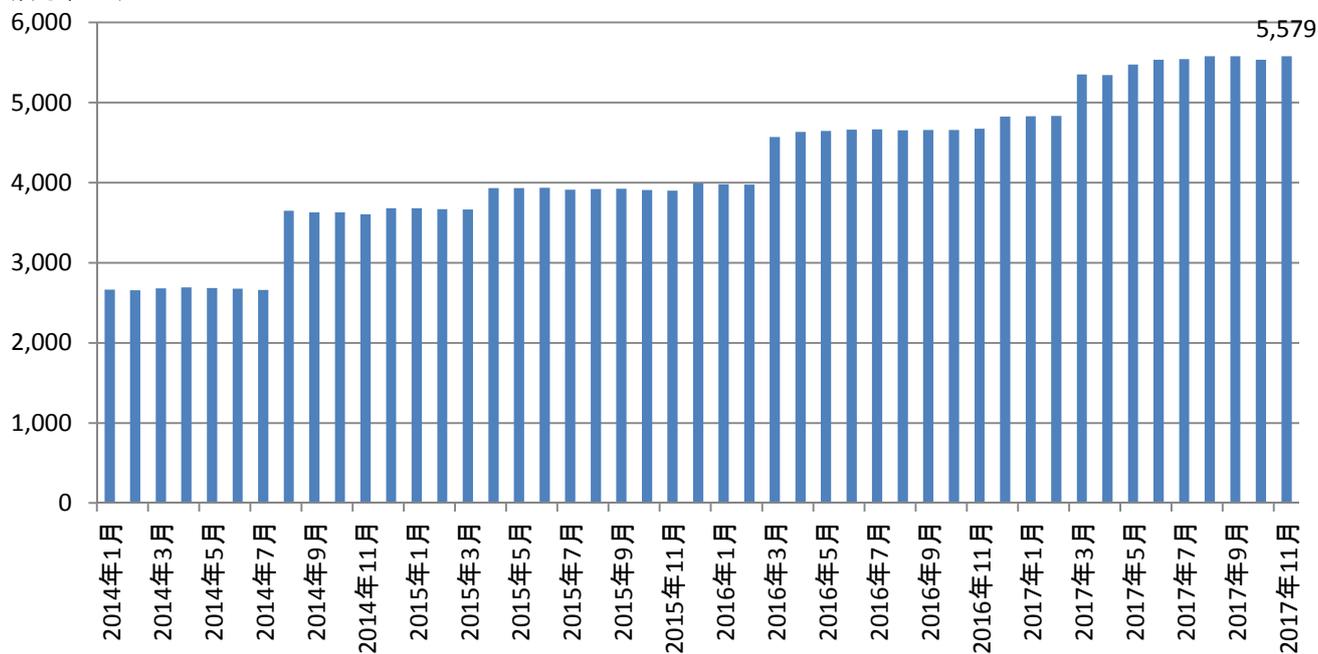
## 対外累積債務：年末値

(百万米ドル)



## 対外累積債務：月末値(2014年～2017年)

(百万米ドル)



## VI 最低賃金・失業率

### 1 最低賃金の推移

2016年11月までは、直近の最低賃金改定月以降の消費者物価指数を累計し、右累積値が10%を超えるごとに、最低賃金を改定していたが、法律第5764号(2016年11月発布)が施行されたことにより、最低賃金は、消費者物価指数に応じ、毎年6月に改定される。2017年6月の改定では、最低賃金は3.9%引上げられ、2,041,123グアラニとなった。

#### (1) 最低賃金の改定歴

期間	最低賃金(グアラニ)	増加率
2005/1/1 ~ 2005/3/31	972,413	
2005/4/1 ~ 2006/3/31	1,089,103	
2006/4/1 ~ 2007/9/30	1,219,795	
2007/10/1 ~ 2009/4/30	1,341,775	
2009/5/1 ~ 2010/6/30	1,408,864	
2010/7/1 ~ 2011/3/31	1,507,484	10%
2011/4/1 ~ 2014/2/28	1,658,232	10%
2014/3/1 ~ 2016/11/30	1,824,055	7.7%
2016/12/1 ~ 2017/6/30	1,964,507	3.9%
2017/7/1 ~	2,041,123	-

### 2 失業率

2017年発表の統計・国勢調査局(DGEEC)「EPH 2016」において、2016年の全国の失業率は6.0%であった旨発表された。

2017年12月発表の統計・国勢調査局(DGEEC)「ECM」において、アスンシオン市及び大都市圏の2017年失業率(第3四半期時点)が7.6%であった旨発表された。

#### 失業率(年末値)推移: 全国

期間	失業率(%)
2010年	6.0
2011年	6.0
2012年	7.9
2013年	8.1
2014年	6.5
2015年	5.3
2016年	6.0
2017年	

出典: DGEEC: ENCUESTA PERMANENTE DE HOGARES

#### 失業率(四半期)推移: アスンシオン市及び大都市圏

期間	失業率(%)
2014年第1四半期	9.1
2014年第2四半期	7.7
2014年第3四半期	7.7
2014年第4四半期	6.5
2015年第1四半期	7.6
2015年第2四半期	6.7
2015年第3四半期	6.0
2015年第4四半期	5.5
2016年第1四半期	7.6
2016年第2四半期	8.9
2016年第3四半期	6.9
2016年第4四半期	7.4
2017年第1四半期	8.4
2017年第2四半期	8.9
2017年第3四半期	7.6
2017年第4四半期	

出典: DGEEC, ENCUESTA CONTINUA DE EMPLEO

## VII 実質GDP・名目GDP・経済成長率(パラグアイ中央銀行発表)

### 1 実質GDP(基準:1994年)・名目GDP

単位:千米ドル

年	名目GDP	実質GDP (基準:1994年)
2000	8,207,164	8,588,449
2001	7,662,152	8,516,817
2002	6,326,170	8,514,994
2003	6,588,266	8,882,905
2004	8,060,401	9,243,322
2005	8,772,074	9,440,527
2006	10,662,013	9,894,345
2007	13,837,526	10,430,779
2008	18,504,761	11,094,084
2009	15,954,961	10,654,127
2010	20,028,376	12,049,072
2011	25,149,416	12,572,292
2012	24,690,711	12,416,525
2013※	28,914,736	14,159,343
2014※	30,657,222	14,827,994
2015※	27,373,818	15,267,234
2016※	27,645,140	15,880,909
2017※	29,734,895	16,560,309

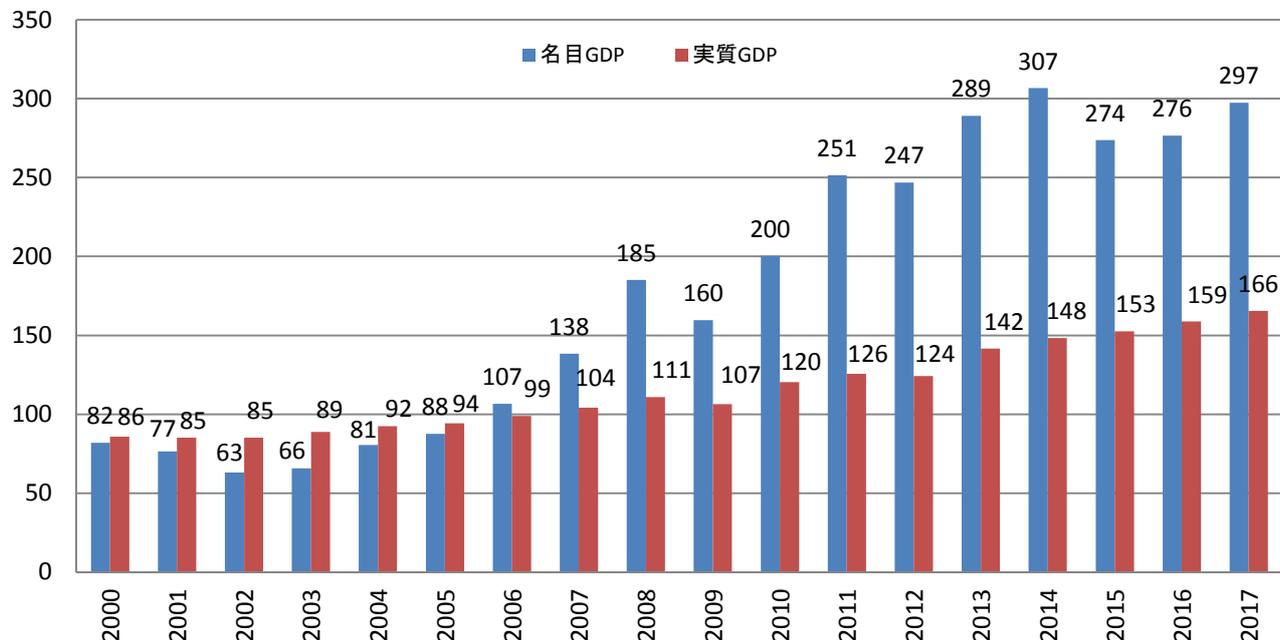
### 2 経済成長率

単位:%

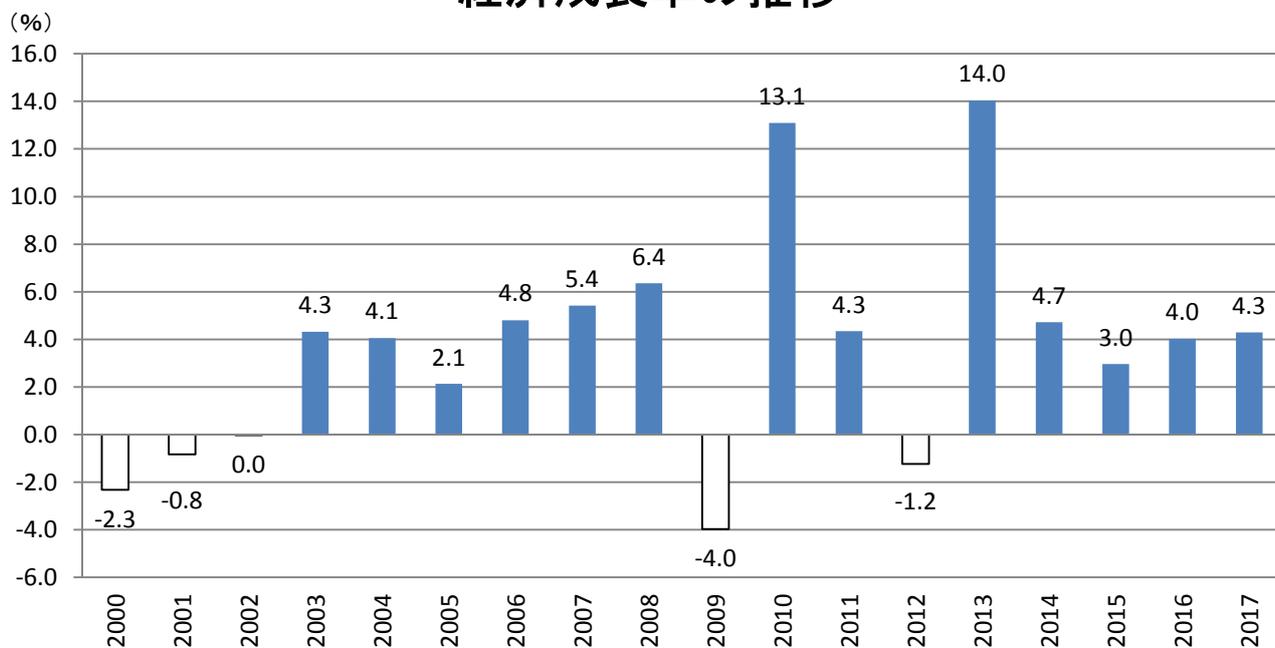
年	経済成長率
2000	-2.3
2001	-0.8
2002	0.0
2003	4.3
2004	4.1
2005	2.1
2006	4.8
2007	5.4
2008	6.4
2009	-4.0
2010	13.1
2011	4.3
2012	-1.2
2013※	14.0
2014※	4.7
2015※	3.0
2016※	4.0
2017※	4.3

(億米ドル)

## 名目GDPと実質GDPの推移



## 経済成長率の推移



## Ⅶ 1月 の経済トピックス

### 1 石油・バスの値上がり

10日、ヒメネス財務大臣、レイテ商工大臣、ヒメネス・ガオナ公共事業通信大臣及び中央銀行総裁等からなる経済閣僚会合(EEN)は、石油国際価格が前回2016年改定から27%上昇したため、同日からディーゼル価格を10.5%値上げ(1リットル・440グアラニー(約0.08米ドル)の値上げ)し、1リットル4,630グアラニー(0.84米ドル相当)となる旨発表した。これにともない、15日からアスンシオンのバス運賃が上昇した。現行運賃から200グアラニーから300グアラニー(0.04~0.05米ドル相当)値上げとなり、運賃は2,200~3,600グアラニー(0.4~0.7米ドル)となった。

### 2 2018年予算成立

12日、2018年予算が公布された。歳出は、735億グアラニー(約132億ドル)であり、対前年比で11%増となった。財務省によれば、本予算は行政府から議会へ提出された予算案から8,700万米ドル増えており、4,000万米ドルの財源不足を招く。同省の分析では、2018年予算は対GDP比の1.7%の赤字となり、財政責任法に定められた1.5%を超過することになる。

2018年予算は、6億200万米ドルの国債発行と、231億グアラニー(約420万米ドル)の税収を見込んでいる。本予算成立にあたっては、議会から提出された予算案に対して、大統領府が主に給与増額に反対し、法案の部分的な拒否権を発動。ヒメネス財務大臣は、議会案を施行すれば、学校用品や医薬品購入といった社会政策に影響が及ぶ旨述べていた。しかしながら、議会は拒否権を否決。これにより、議会案が自動的に成立し、1月12日公布された。

### 3 非伝統的品目輸出が8年間で3倍成長(対2009年比)

17日、オシウ商工省投資・輸出総局(REDIEX)商業情報課長はラジオ出演し、非伝統的品目の輸出額は2009年の3億6,000万米ドルから、2017年は9億1,000万ドルと、8年間で3倍に成長している旨述べた。主な非伝統的品目は、ワイヤー・ハーネス、殺虫剤、紙等がある。同課長は「非伝統品目の輸出は、重要な飛躍をみせている。」と、国内産業における非伝統品目の重要性につき述べた。

また、1月に発表された税関統計によると、2017年、自動車部品の輸出額が前年比53%増加した。自動車部品は、ワイヤー・ハーネス等を製造するマキラドーラの設置により、近年増加している非伝統的輸出品のひとつである。自動車部品産業の取引額は、2017年12ヶ月間で235.8米ドル、2016年から154万米ドル増加した。

税関によると、現在、自動車部品(ハーネス)は、2017年に最も輸出された10品目のうち6位であった。なお、上位は大豆、肉及び肉類加工品、家畜用飼料、食品残渣飼料、動物性及び植物性油脂、穀物が続いた。自動車部品より下回った品目は、布製品、皮革及びその加工品、プラスチック及びその加工品、動物由来製品であった。

### 4 トラック業界によるストライキ・デモ

18日に公共事業通信省(MOPC)が公布した決議第74号(大型トレーラーが国道5号線の一部区間を通行できるように定めた決議)に関し、国内トラック業界が反発し、ストライキ及び一部道路をトラックで封鎖した。

25日、パラグアイトラック運転手協会(Fedecap)及びトラック運転手組合は、決議第74号の公布によってブラジルから大型トレーラーが進出して仕事を奪われることを懸念し、同決議に反対することを目的に、同日以降、運送業者のストライキを行う旨発表した。

29日、国内各所で、大型トレーラーのブラジルからの進出に反対するデモが行われた。ラモスFedecap代表は、大型トレーラーが入ってくることによる輸送費の値下がり懸念しており、国内3万5千人以上のトラック運転手が反対運動に参加している旨述べた。

2月2日、公共事業通信省(MOPC)は、第74号決議の12ヶ月間の凍結を発表した。その後、パラグアイ政府とトラック業界が、輸送費の値上げにつき協議したが、合意に至らず、ストライキは継続した。

6日、生産者とトラック業界との間で会合が実施され、国内の各地点への参考平均輸送費の値上げに関し合意するとともに、トラック業界は直ちにストライキ及び各地で実施していた国道封鎖をとりやめることを約束した。これにより、ストライキ及びデモは収束したが、トラックによる物流が滞ったことにより、農業、酪農業、工業をはじめとしたパラグアイの国内産業に影響がでた。

### 5 国立勸業銀行と白沢商工株式会社によるゴマ栽培農家支援にかかる協力協定締結

24日、国立勸業銀行(BNF)と白沢商工株式会社は、BNF本店において、カアサバ県、カアグアス県及びカニンデジュ県クルグアトゥ市におけるゴマ栽培農家農家向け融資に関する協定に署名した。今次融資は、白沢商工にゴマを出荷する小農(約2万戸)に裨益するものである。白沢商工がゴマ生産・輸出をリードしてきたパイオニアとして、市場を46年間牽引したことを踏まえ、BNFは極貧との闘いを支援するとともに、小農の生活改善に貢献する社会的役割を果たすことを目指している。今後、白沢商工は、融資に関心を有するゴマ生産者のリストをBNFに提出する予定である。

融資対象は、18歳から70歳の農牧畜業に従事する小農。融資対象は110~550万グアラニー(200~909米ドル相当)。融資期間は6~8ヶ月であり、年利は10%となる。